



ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用

みなさんと議会を結ぶ情報誌

# 議会だより

第41号

平成28年8月5日発行

# さ よ う

## 未来へかがやけ



もくじ

- 第72回定例会 .....2  
平成28年度補正予算
- 議会構成が変わりました .....4
- 一般質問 8人の議員が斬りこむ .....6
- 親しみある議会をめざしています .....15  
第4回議会報告会
- 議会の予定、編集後記 .....裏表紙

# 交付金を申請

28年度予算補正1523万4千円を増額

次世代農業モデルプラント事業加工品製造機器導入  
県事業を活用しスクールソーシャルワーカー配置

27年度佐用町繰越明許費を確定

一般会計1億8768万円

## 議案審議

第72回定例会は、6月7日から22日までの16日間の会期で開かれ、町有財産の無償貸し付けや平成27年度繰越明許費繰越計算書の報告、平成27年度一般会計補正予算、平成28年度一般会計補正予算など30件について慎重に審議し、原案のとおり可決承認しました。  
一般質問には、8人の議員が登壇し活発な議論を展開しました。

### 新規事業

次世代農業モデルプラント事業の拡充に1000万円

加工販売支援事業として、加工品（トマト等）製造用機器の導入に向け、佐用・I・DECメガソーラー有限責任事業組合に負担金支出を決定。

児童・生徒の教育支援に100万円

県事業と連携し、佐用中学校区にスクールソーシャルワーカーを配置し、今後、全校区に拡げる。また、全小・中学校に学習支援ツール活用モデル事業を導入。

### 議決案件

町有財産の無償貸し付け  
次世代農業モデルプラント事業実施に向けて、

旧三土中学校跡地、13・500㎡、建物2棟を佐用・I・DECメガソーラー有限責任事業組合に無償で5年間貸し付ける。

### 工事請負契約の締結

三土中学校解体撤去工事を、宍粟市の株式会社前川建設と8240万4千円で請負契約締結。

（仮称）南光地域保育園建設工事を、たつの市の株式会社進藤組と3億5618万4千円で請負契約締結。

三日月小学校大規模改

造工事を、佐用町の阿山建設株式会社と9234万円

で請負契約締結。

### 財産の取得

小型動力ポンプ付積載車4台を、たつの市の有限会社岡本ポンプと3585万6千円で購入契約締結。

利神小学校スクールバス1台を、佐用町の松田モーターズと650万7千円で購入契約締結。

### 請願

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるため、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する件」は採択されました。

### 発議

請願の採択を受け、議員発議による意見書を可決しました。

### 諮問

人権擁護委員の推薦  
氏名 小紫 光慈氏  
氏名 押田美代子氏  
氏名 古淵 操氏  
氏名 岩本美保子氏  
意見 全員適任

### 同意

副町長の選任  
氏名 坪内 頼男氏  
任期は、平成28年7月1日から4年間です。



▲小型動力ポンプ付積載車

# 地方創生推進



## 報告

平成27年度佐用町繰越明許費繰越計算書の報告

地方創生関連事業費等を28年度へ繰越し、事業促進を図る。(表参照)

## 専決処分

町公用車の接触により、理道路カーブミラーの倒壊により2万8879円を国家賠償法により賠償し、和解する。

## 承認

### 専決処分の承認

地方税法の改正による、佐用町税条例等の一部改正を承認。

地方税法の改正による、佐用町固定資産評価審査委員会条例の一部改正を承認。

**問** 委員会の開催は、21年に2回開催。

事業名	金額(千円)
地方創生加速化交付金事業	82,365
地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業	12,874
年金生活者等の臨時福祉給付金給付事業	85,017
子ども子育て支援システム改修事業	1,124
道路新設改良事業	6,300
合計	187,680

平成27年度補正予算を承認

平成27年度事業の確定並びに精算による不用額の整理等。

### 主な質疑

#### (一般会計)

**問** 緊急防災林整備事業補助金の皆減理由は。

**答** 奥海地区で計画していたが、県事業に該当しなかったため。

**問** 三土中学校事務組合精算負担金の内容は。

**答** 事務組合会計の打ち切り決算剰余金等から共済費や電気保安委託料、簡易建物撤去工事費等を差し引いて、各々の分担割合により返還があった。

**問** 物品の分配はどのようなのか。

**答** 宍粟市、佐用町で必要なものは均等に分配し、不要なものは処分する。

**問** ふるさと応援寄付金の伸び率はどうか。

**答** 26年度が114件、358万6313円、27年度が294件、629

万5632円で175・5%の伸びである。

#### (国民健康保険特別会計)

**問** 滞納者増と督促件数の状況は。

**答** 督促手数料を2万円増額し、当初見込みとほぼ同じ水準で推移した。

**問** 一般会計からの繰入金は、最終どの位になるのか。

**答** 近年の医療給付費は年々伸びていたが、27年度は医療費の顕著な増額は見られず、今回の減額補正により約4000万円程度である。

**問** 国保税が高額なので国の支援金はどうなのか。

**答** 12月補正で約2000万円措置されている。結果・全員賛成 可決

### 反対討論

平岡きぬゑ 議員

保険給付費の減額に伴う精算的最终補正予算は、国の支援金が増額されているもとして一般会計に繰入金に戻す対応を行った。

高すぎる国保税は、1世帯あたり約2万円引き下げることが可能であり、町は引き下げを決断すべきだった。以上指摘し反対する。

### 賛成討論

石堂 基 議員

今回の補正は、27年度会計の決算見込みに基づく予算の調整であり、被保険者に新たな負担を求める内容ではない。療養費の低推移に伴い一般会計からの繰入金を減額しているが、この減額に際しても国保基金の積み戻しができるように行われ、国保基金の安定と加入者の負担軽減が図られていることから賛成である。結果・賛成多数 可決



# 議会の構成を決定

## 岡本安夫議長・石堂基副議長による新体制スタート

4月28日、臨時議会で議会役員改選が行われ、正副議長をはじめ、監査委員、各委員会構成等が決定しました。

### 議長就任あいさつ



議長 岡本安夫

4月28日に開催されました臨時会において、第8代佐用町議会議長に選任していただき議長の大任を拝命することになりました。このことは、身に余る光栄であると同時に、職責の重大さを改めて痛感しているところでございます。

さて、本町を取り巻く状況は、少子高齢化の進展や人口減少、地域の賑わいの喪失など厳しい環境変化が続いています。執行機関でない議会には限界がありますが、行政の監視だけではなく提案にも力を入れて行政・議会の両輪が共に皆さまの幸せのために前進できるよう努力いたします。さらには、佐用町議会とし3年前から取り組みを行ってまいりました議会改革を進展させ、開かれた議会づくりへの歩みを引き続き進め、新しい体制として生まれた副議長はじめ新たな委員長と共に、議会一丸となり住民福祉の向上に努めて参る所存です。

今後とも町民の皆様の一層のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長 石堂 基



監査委員 矢内作夫

### 産業厚生常任委員会



後列

廣利一志 石堂 基 山本幹雄 岡本義次

前列

委員長 副委員長  
平岡きぬゑ 千種和英 矢内作夫

所管 住民課、健康福祉課、農林振興課、  
商工観光課、建設課、上下水道課 他

### 総務常任委員会



後列

小林裕和 金谷英志 石黒永剛 西岡 正

前列

委員長 副委員長  
岡本安夫 竹内日出夫 加古原瑞樹

所管 総務課、企画防災課、税務課、支所、  
教育委員会、西はりま天文台公園 他

## 議会広報特別委員会



後列

小林裕和 千種和英 加古原瑞樹

前列

委員長 副委員長  
矢内作夫 石堂 基 金谷英志

定例会ごとに「議会だより」を編集・発行  
議会の広報広聴に関する事項

## 議会運営委員会



後列

竹内日出夫 廣利一志 千種和英

前列

委員長 副委員長  
山本幹雄 小林裕和 加古原瑞樹

本会議の会議日程などの議会運営に関する事  
項を調査・審査

# 一部事務組合議会議員も決定

## 播磨高原広域事務組合

(佐用町 定員5人)

岡本安夫、千種和英、小林裕和、金谷英志、矢内作夫

たつの市、上郡町、佐用町で構成し、火葬場、上下  
水道、小中学校、チューリップ園、サッカー場を管  
理・運営しています。

## にしはりま消防組合

(佐用町 定員2人)

岡本安夫、千種和英

相生市、たつの市、宍粟市、太子町、  
佐用町を構成市町とする広域消防組合  
です。

## にしはりま環境事務組合

(佐用町 定員4人)

岡本安夫、廣利一志、山本幹雄、西岡 正

姫路市、たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町で  
構成し、にしはりまクリーンセンター（佐用町  
三ツ尾地内）の管理・運営を行っています。



6月8・9日、8人の議員が町政をただしました。

- **岡本 義次** 議員 ..... 7
  - ① 熊本地震被災者の受け入れはできないのか
  - ② 加速化交付金と定住対策について
  - ③ 役場に目安箱の設置を
- **千種 和英** 議員 ..... 8
  - ① 熊本地震における本町の取組は
  - ② 基幹産業を目指す農業振興の具体的な取組は
- **加古原 瑞樹** 議員 ..... 9
  - ① 生命・財産を守る 災害への備えを
- **平岡 きぬゑ** 議員 ..... 10
  - ① 地域公共交通の充実求める
  - ② 住宅リフォーム制度の実施を
- **山本 幹雄** 議員 ..... 11
  - ① 農地取得に係る下限面積の緩和
  - ② 国道373号線上上月地内の水路の改修について
  - ③ 秋里川の浚渫
- **小林 裕和** 議員 ..... 12
  - ① 佐用町の農業の未来は！進むべき道は
- **金谷 英志** 議員 ..... 13
  - ① 町経済発展をどう図るか
  - ② 山崎断層地震にどう備える
- **廣利 一志** 議員 ..... 14
  - ① 「平福」、「乃井野」の魅力を磨くとは

8人の議員が斬りこむ

佐用町のことが聞きたい

※記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は後日会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。なお、掲載順は毎回くじ引きで決めています。

# 被災者の受け入れはできないのか

## 町長 — 佐用町単独ではできない



おかもと よしつぐ  
**岡本 義次 議員**

**問** 熊本でM7・3の大

地震が起き、死者49人、

関連死19人、怪我人16

82人、避難者1031

6人、建物損壊8632

9棟と甚大な被害があり

ました。家を失い仮設住

宅で生活されており、余

震が続く、家を建てるの

に困難な家族を佐用町に

は空家が多く、そこに住

んでもらう事が出来ない

のか。

で発信してもらいたい。

**町長** そういう希望の方

があれば対応したい。

**加速化交付金と定住**

**対策**

**問** 三土中学校跡地に佐

用アイテックメカソーラー

有限責任事業組合と共同

でハウスを建て、トマト

等作り、佐用高校や地元

若者の研修や特産物のど

ういう事をやろうとして

いるのか、又雇用は

**町長** トマト栽培を中心

として加工品開発を進め

るため、今年管理者候補

とパート6名位の雇用を

佐用から大原へ通学して

もらい、100人でも50

人でも迎え、住所を持つ

て来て貰い、交付税の対

象にもなる。どこの住宅

に迎える準備ができてい

るのか、町の

イベントや買

物と、町に活

気出ると思う。

**町長** 本年度に入り美作

市と大阪滋慶学園におい

て事業実施の調印が行わ

れたので、今後佐用町と

しての取り組みを進めた

い。



▲特産物生産ハウス



▲看護生住宅どこにするのか

**役場に目安箱の設置**

**を**

**問** 本庁や支所等に目安

箱を設け、解決し良いま

ちにしたらどうか。

**町長** 笹ヶ丘荘や図書館

では利用者アンケートを

行っているので、目安箱

# 熊本地震における本町の取組は



ちくさ かずひで  
千種 和英 議員

## 町長——職員派遣・募金活動等を行った！

**問** 本町の支援の取組は  
**町長** 人的支援として、兵庫県 の要請で職員2名を派遣した。水害復旧時の経験から益城町で仮設住宅の住民対応を行った。社協も県社協と共同でボランティアセンターの運営を行った。また町内各地で募金活動を実施し義援金を送った。

**問** シティープ  
ロモーションの観点から、災害支援のリーダーとして本町の経験を活かせないか。  
**町長** 現状でも各分野での幅広い取り組みができています。災害支援の専門的な教育等は難しく、続かないと考える。



▲熊本市益城町での佐用町商工会青年部の支援活動

**問** 基幹産業を指す農業振興の具体的な取り組みは  
**町長** 次世代農業施設（旧三土中学校跡地）でのトマト栽培の雇用予定者数、及び事業展開の想定は。  
**町長** 常勤管理者1名、収穫時等のパート職員5名程度を予定している。本事業でモデルを確立し新規就農等の横展開の想定

**問** を目指している。生産されたトマトの販路は確保できると判断している。またその加工品の市場についても、可能性のあるものだと判断している。  
**問** 生産品（トマト）の流通の現状は確認しているのか。  
**町長** 有限責任事業組合の組合員企業からの報告を信頼している。  
**問** 有限責任事業組合で

の町と企業の役割分担、生産量・流通経路・取引価格等の決定権は。  
**町長** 企業に任せ、報告を受ける。  
**問** 農産物の生産と販売の役割の分離を考えて欲しい。  
**町長** ひまわり祭は短期間のお祭的な事業であるので考えていない。継続的な直売においては必要だと考える。



▲農業経営の安定を目指す取り組みを



# 災害から町民の財産・生命を守るための備えを

## 町長 — 地域と一体で防災に取り組む機運を醸成する



かこはら みずき  
**加古原 瑞樹 議員**



▲家屋の倒壊から身を守る耐震ベッド

**問** 商工会青年部中心で熊本県益城町のボランティア活動をやる中で、被害が大きかった地域を見て来た。何か爆発でもしたような状態の中、家屋の下敷きになり命を落

とされた方が多いと聞き、寝室のみ補強するシェルター型工事や、防災ベッドの設置が有効だと感じた。本来は簡易診断の結果、改修が必要な住宅のみ補助対象だが、全戸対象に出来ないか。また補助対象にならなくても、こうした対策が有効だという事を周知することが大事だと考えるが、今後どう対応するか。

**町長** 急がないといけない古い家屋の対応も

**問** 東日本大震災では火災発生約6割が電気によることから、県内では神戸市や養父市で一定以上の地震が発生した時に自動で電気を止める『感震ブレーカー』の設置に対して補助をだしている。地震発生後の火災を予防するためにも、今後の減災の取り組みとしては、感震ブレーカー設置推進にむけた取り組みは出来ないか。

**町長** 関西電力をはじめとした事業者や他市町で

の取り組みが分からないので今後調査する。

**問** 消防協力員を募集しているが、現状は。

**町長** 初期消火など協力してもらう被書の軽減を図るため、広報や佐用チャネルで募集して現在9名の申し込みがある。

**問** 住民の生命と財産を守るためには、防災マップ作成だけでなく実践しないと意味がない。地域の自主性を待つのではない

く自主性が芽生えるような事業をもっと積極的に行なうべきだ。

一人一人の防災意識を向上し、自助・共助につなげていく事が必要だが、防災訓練の指導は今現在どうしているのか？

**企画防災課長** 特に必要な場合は指導している。出来ない集落にはヒアリングを行ない、共助を認識し取り組んでもらえるよう努力している。



▲熊本県益城町の被害の様子

# バス・タクシー・鉄道利用者の声を活かせ



ひらおか  
**平岡 きぬゑ** 議員

## 町長―地域公共交通会議で協議している

**問** コミバス・さよさよサービス・タクシー・姫新線など地域公共交通は、日常生活において重要な役割をはたし、福祉、環境、教育、観光、商工業などまちづくりの土台となるものだ。利用者から改善要求がある。改善が一步でも前進することを求める。現状と課題、町長の方針を問う。

**町長** コミバス・さよさよサービスの毎日運行と乗車券増刷は、他の交通機関とのバランスを考慮している。乗車券の払い戻しは考えていない。左用駅のバリアフリー化は

構造上無理。姫新線の増便・増両は引き続き要望していく。利用者の要望は町が聞く。



▲ J R 姫新線で通学（播磨徳久駅）

## 住宅リフォーム実施自治体

全国商工新聞調査 2015年度

兵庫県 42（県含む） 17自治体

明石市、西宮市、赤穂市、宝塚市、三木市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、朝来市、猪名川町、多加町、稲美町、播磨町、福崎町、香美町、新温泉町

**町長** 手続きなどで不安があるという事業者の声を聞いており町として踏み切れない。

業者の売り上げ増、雇用の拡大と安定をもたらし町の収入となつて戻ってくるものであり、検討を求める。

**問** 「住宅リフォーム制度」は、個人が住宅のリフォーム、修繕や改善を行う際、地元の建設業者に発注するという条件で、屋根・外壁の張り替えや塗装、台所や風呂などの水回り、畳の表替えや断熱ガラスの工事など、幅広い修繕や改善に、工事

費の一定額を補助する制度で全国に広がっている。2015年度全国で603（内兵庫県下で4割・17）自治体で実施している。また、店舗リニューアルは全国55自治体で実施。佐用町では以前から制度の実施を求める声が出されていた。同制度は、景気対策としても効果的で、地域経済にお金をまわし、関連中小

# 農地取得に係わる下限面積の緩和

## 町長一協議検討する。



やまもと みきお  
**山本 幹雄** 議員

**問** 佐用町へ移住し農地を取得しようとした時、「農地取得下限面積要件」がある。佐用町では30a以上となっている。都市部から移転された方に、30a以上と言われても戸惑うだけである。また、非農家や従来から農業をされている方においても「農地取得下限面積要件」は問題である。住宅の近くで誰も管理しない雑草まみれの農地があつて管理のため購入しようとしてもこの要件があるため30a以下の農家の方または非農家の



▲芦谷川暗渠

方は購入出来ない。佐用町を見渡せばそんな所はいくらもある。町長の考えを伺います。  
**町長** 本町では、30aが農地取得下限面積となっている。平成21年12月施行の農地法により、地域

の平均的経営規模や新規就農を促進するため各市町の農業委員会で下限面積を定める事が出来なくなった。空き家対策や耕作放棄地の減少の観点から、下限面積の緩和は必要と考える。農業委員会と協議し研究する。  
**問** 上上月地内の、国道373号線の下を流れる芦谷川の暗渠が急に狭くなってきている。この断面が急に狭くなっている事により、21年の台風時には大変な被害をもたらすことになった。500億円の改修をすることになった時、住民は暗渠の改修

**国**道373号線、上上月地内の水路の改修

が行われると喜んだ。しかし、河川改修も終了しようという時期に来ても改修のめどは立っていない。一刻も早い改修を望む。  
**町長** 自治会からも要望書が提出されている。町も県もよく認識している。出来るだけ早く事業化できるように引き続き要望する。



▲秋里川の堆積土砂

**問** 秋里川は、全く浚渫されていない所もある。河川断面を著しく狭めている状況であり、これではかえって水害を引き起こしかねない。  
**町長** 現地を確認し、浚渫をしなければいけない箇所だと認識している。課長に指示している。

**秋里川の浚渫を**

# 農政変革で農家の進むべき道は



こばやし ひろかず  
**小林 裕和 議員**

## 町長―国には地域にあう、農業施策を求める

**問** 町の現状は、零細農家が主体で高齢化が進んでおり、5年後はどうなっているのか。

**町長** これからの5年間で高齢化と人口減により、農家は減少の一途をたどり、農地の集約化が進むことにより、大型農家と零細農家の両極化が進むと考える。

**問** 国が示してきた現行の交付金制度の活用は一部の地域で、多くの地域は、今苦境に立たされており、30年からの新たな農業施策が導入されれば

散々な状況になる。

**町長** 担い手農家に預けられない条件不利地の農地は、収益性、利便性等により耕作放棄地へと変わってしまう可能性を秘めており、

新たな農業政策には大きな関心を寄せている。コメの需要量の減少と、TTP関連により良質な作物の生産を目指す必要があり、高付加価値の農産物と、新規特産作物を見出すことが急務である。



▲集落共同獣害防止柵補修作業

**問** 制度改正により、本町では高齢化と共に放棄地が増え、わずかな農地しか残らない状況は切実

である。地域、農家が対応できなければ、環境・防災面からも問題だ。

**町長** 農業は生産だけでなく、維持管理により環境・防災面でも重要である。地域の実情に合った施策の展開を国に求めていかなければならないが、町では、放棄地になりやすい山間地の農地に獣害被害の無い、農業機械を多く必要とせず、収益性も見込めるミツマタ、薬草を試験的に栽培する研究しており、収益性の高い農産物として取り組

**問** みた。佐用町の農業・農地を荒廃から守り、環境・防災面からも地域を守っていく施策を、農家、集落、地域に推進し、それを実践していく幅広い体制が必要ではないか。

**町長** 支援施策の説明に

については自治会長、農会長を中心に推進してきたところである。今後も県農林、普及所、農協等関係機関と連携し、地域及び集落が、各種補助事業により、農業施設等の維持管理に対する助成交付金制度の啓発に努める。



▲未整備田の水稲植え付け作業



▲獣害のない薬草（カワラヨモギ）

# TPPの本町への影響は

## 町長 — 生産意欲をそぐ



かなたに えいし  
**金谷 英志 議員**



▲田植えが終わった水田〔春哉〕

**問** TPPの批准は国会では見送られたが、TPPの本町経済への影響をどうみるか。

**町長** 本町に大きく関わ

る農産物は、米、麦、イチゴ、牛肉、豚肉、乳製品などがある。米、麦については生産者価格が引き下げられることが想定

され、生産意欲をそぐ懸念がある。牛肉、豚肉、乳製品についてはより大きな影響があり、将来に不安がある。

**問** 町振興施策を策定する上では国が行っている『経済・農林業センサス』などの調査にとどまらないより詳細な本町の商業、農林業の産業状況の把握が必要ではないか。

**町長** 『経済センサス』は町内約1000の事業所が対象となっており、本町の商工業の活動状況は把握できる。農林業については、「水稻生産実

施計画書」、「宮農計画書」、農業振興団体とのヒヤリングなどを通じておおむね必要な情報は得る事ができる。

**問** 町内地域産業「コミュニティ」など生活の質に関する問題は、住民の生活圏である、地域づくり協議会で考えることが大事だ。地域づくり協議会に交付している「地域自治包括交付金」の増額など財政的な支援強化が必要ではないか。

**町長** この交付金は地域のみなさんが立てられた計画に基づき交付するもので、自らの知恵で地域づくりができるものである。特に地域振興として必要と

いうことであれば別途予算措置を考

える。

**問** 山崎断層帯のごとく備える

熊本地震は

「横ずれ断層型」の地震だったと気象庁は発表している。本町付近には山崎断層があり、



▲山崎断層帯

地震がいつでも起こりうる状況だ。町内の住宅や公共施設、山林、農地などの災害危険箇所の調査とその地震対策をどうとるか。

**町長** 公共施設についてはほぼ耐震補強を実施している。町内危険箇所は県と合同で調査をし、農地、住家に影響を及ぼすところには治山工事などで対応する。



▲旧三日月藩の町割り図

# 「平福」、「乃井野」資産を磨くとは

## 町長 — 誇りの持てる街づくり



ひろかが かずし  
**廣利 一志** 議員

**問** 資産を磨いて、何を目的にするか

**町長** 佐用町が誇る資産には魅力があるが、これからどう活かすのか。

**町長** 先人の遺産であり、守っていく。さらに観光とか、移住・定住につなげるのだと思う。

**問** 利神城跡の国指定の範囲、今後のスケジュールは。

**町長** 宿場町は含まない。地権者400名〜500名の同意を年内に得たい。  
**問** 乃井野の武家屋敷の修復・保存は。

**町長** 国宝とか重要文化財ではないので、所有者の意向が一番。

**問** 武家屋敷に古文書があるが、調査、保存が必要では。

**教育長** 所有者が寄贈の意思があるかどうかなどお聞きし、今後検討したい。

**人口減少率、県下ワースト1位の9.12%**

**問** 合併後、3500人の人口が減ってる。その検証と、これからの10年

の政策は何が大事なのか。  
**町長** 人口減少の抑制策をとってきたが、残念な結果だ。災害の復興に取り組まざるを得なかった、という事もあると思う。

**問** 町の「人口ビジョン」では、人口の社会減を、平成31年の目標を53人としているが、現状をどう捉えているか。

**町長** 1年を経過して、非常に厳しい結果だと認識している。今後は、自然の豊かさだけでなく、子育て支援策、交通の利便性など知っていただくように努めたい。

**問** 先日の自治会長会では協力依頼をされたそう

だが、反応は。  
**商工観光課長** 8自治会から、さっそく空き家の状況について報告をいただいた。

**問** 「人口ビジョン」の計画達成に向け、その旗を降ろさない、そんな気持ちを含めた町長の決意は。  
**町長** 全職員のみならず、議会も自治会長会も民間団体の力も借りたいと思っている。  
佐用町が好きだ、応援したいという人たちが更に増やしていきたいと思っている。



▲乃井野の武家屋敷跡

## 親しみある議会を めざしています

とどけよ！

町民の切なる声を！願いを！



▲三河ふれあいセンター

# 政策提言、

# 議論したか

議会運営委員長

小林裕和

5月12日から21日までの7日間、第4回目となる議会報告会を13地域づくり協議会単位で実施し、前回より51人多い、総勢152人の参加をいただきました。

今回は、3月議会で審議した平成27年度補正予算や平成28年度当初予算等の審議内容を報告し、参加者との意見交換の場では、議会活動に対する厳しい声や期待する声、要望・課題等を頂き、5月31日に全議員で報告会の反省会を開催し、意識の共有を図りました。これからも皆様の貴重な意見と声を議会の場に繋げていきたいと考えます。

（ご意見の一部を紹介します）

もつと議会が提言を

地方創生とか再生と全国的に言っているのに、予算の説明だけでは心配。もっと地域に根ざした、若い人にアピールする提言・政策について議会が議論すべき。

交付金に柔軟性を

地域自治包括交付金の使い道について、細かく町にお伺いを立てている。もう少し柔軟性を持たせられないか。

政策提言はどう反映されたか

町予算の説明を聞いていてバラ色なんだが、それに議会や議員がどう関わったのか、政策提言が結果としてどう町政に反映したのか。議員はそれ

を積極的にアピールすべき。

当局の報告を聞いて

この報告会の内容なら町の広報誌・議会だよりを読めば分かる。まるで当局の報告を聞いているようだ。議会の提案、議論があつてこの予算になったという過程が知りたい。報告会のあり方を考えてほしい。今のままだと次回は来ても仕方ない。

学校特別委継続すべきでは

学校規模適正化特別委員会を廃止したが、まだ統合されていない小学校もあり中学校はこれからだ。継続すべきではなか



▲佐用地域福祉センター

移住促進に危機感がない

ったか。移住促進について、佐

用町の人気がないのは、行政、住民、議会の三者ともに危機感がないからだ。

## 岡本安夫議員が 兵庫県自治功労者表彰を受賞



今回の表彰は、兵庫県政の伸展、公共の福祉増進に功労があり、その他広く県民の模範となった自治功労に対して行われたものです。

## 9月定例会の予定

7(水) 開会(議案上程)	16(金) 本会議(質疑)
8(木) 決算特別委員会	21(水) 総務常任委員会
9(金) 決算特別委員会	23(金) 産業厚生常任委員会
13(火) 一般質問	28(水) 閉会(討論・採決)
14(水) 一般質問	
15(木) 一般質問	

※一般質問の様子は佐用チャンネルで放映します。

## 西はりま消防 組合議会報告

西はりま消防組合議会

議員 千種和英

第2回臨時会 6月28日

西はりま消防組合議場において、平成28年度第2回臨時会が開催されました。

議長並びに副議長の選出、監査委員選任の同意が提案され、承認されました。また災害対応特殊救急自動車3台、救助工作車、救助資機材積載型消防ポンプ自動車の財産取得について3件の提案を審議し、すべて原案の通り可決されました。

議長

桑野元澄(たつの市)

副議長

岡本安夫(佐用町)

監査

山下由美(宍粟市)

## 表紙写真によせて



三河保育園の子ども達と  
講師の野村智範さん(櫛田)  
昆虫館にて

今日は三河保育園が年に一度行う昆虫館への遠足。1歳児から年長さんまでの19人は、バスでの移動で近くても旅行気分。

日頃は、おとなしい子どもたちが目の前で動く昆虫にテンションは上がりっぱなし。カブトムシやクワガタだけでなく、カエルやイモリなど普段どこでも見れるような生き物なのに、なかなか触る機会が少ないようで、館内は歓声にあふれていた。

た。

外に出て身近な生き物の観察をしている時の子どもたちは、まるでジャングルを探検しているように好奇心に満ちた笑顔でいっぱい。保育園では、オクラやピーマンなど自分たちで育てた野菜を給食で食べ、自然の中で伸び伸びと育てている子どもたちは、ひまわりの様に元気な笑顔がかがやいていた。

加古原瑞樹

## 編集後記

新しい議会構成がスタートして、初めての広報誌編集作業が進んでいます。多くの委員に作業経験があり、取りまとめ役としては非常に助かっています。そうした中にも新しい取り組みを考えて、少しでも多くの皆さんに議会広報誌が見ていただけるように頑張りたいと考えていますので、議会傍聴はもちろん議会報告会や広報誌に対する皆さまのご意見をお待ちしています。

石堂 基

## 議会広報特別委員会

委員長	石堂 基
副委員長	金谷 英志
委員	加古原瑞樹
委員	千種 和英
委員	小林 裕和
委員	矢内 作夫

